

第二九五四七號

大正五年一月二十四日出願  
特許 大正五年六月二日特許  
權者 東京府 東京亞鉛鍍金株式會社

亞鉛引鐵版製造裝置ニ於ケル亞鉛槽

發明ノ性質及ヒ目的ノ要領 本發明ハ亞鉛引鐵版製造裝置ニ於テ底面ヲ開放セル隔版ニ依リテ亞鉛供給室ヲ形成シ熔融亞鉛ノ常液面ヨリ稍下位ニ當リ

●鐵及銅に關する特許 特許公報 本年六月以降

特許せられたるもの、中に就き鐵及銅に關係あるものを摘録すれば左の如し

第二九五四六號

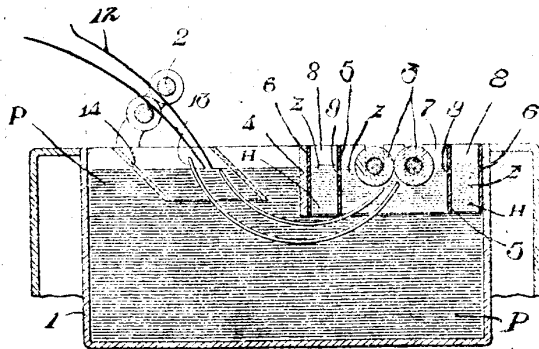
大正元年八月十六日出願  
特許 大正五年六月二日特許  
權者 米國 セネラル、エレクトリック、コムパニー

金屬處理方法

發明ノ性質及ヒ目的ノ要領 本發明ハ銅又ハ鐵或ハ其他ノ常溫ニテ酸化サレ易キ金屬ヲ「アルミニウム」粉末、鹽化「アモモニウム」ト亞鉛又ハ黑鉛トノ混合物ノ適當ナルモノト相接觸セシメテ酸化作用ヲ防止セル汽圍中ニテ適當ナル溫度迄熱シ後更ニ少シク高熱度ニ加熱シテ該金屬ノ表面ニ其ノ金屬ト「アルミニウム」トノ合金ノ適當ナル厚サノ被着層ヲ作ラシムル方法ニ係リ其ノ目的トスル所ハ常溫ニテ酸化ヲ受ケス又腐蝕性ヲ有スル酸類ニ犯サル、事ナキ様ナル被着層ヲ作り以テ該金屬ヲシテ常溫ニテ酸化ヲ受ケルコトナク又酸類ニ犯サレサル様ニスルニアリ

特許請求ノ範圍 一、本文ニ詳記セル如ク處理スヘキ金屬ヲ「アルミニウム」粉末ノミト接觸セシメテ加熱スルコトヨリ成ル酸化其他同様ノ腐蝕作用ヨリ金屬ヲ保護スル爲メ該金屬ヲ處理スル方法 二、本文ニ詳記セル如ク處理スヘキ銅或ハ鐵ヲ「アルミニウム」粉末、鹽化「アモモニウム」及亞鉛或ハ石墨ノ混合物ト接觸セシメテ加熱シ次ニ「アルミニウム」粉末ヨリ取出シテ一層高溫度ニ加熱スルコトヨリ成ル酸化其他同様ノ腐蝕作用ヨリ銅或ハ鐵ヲ保護スル爲メ該金屬ヲ處理スル方法

第一圖 亞鉛引鐵版製造裝置ニ於ケル亞鉛槽ニ於ケル側面圖



- (H) 合金
- (P) 鉛
- (Z) 亞鉛
- (1) 槽壁
- (2) 鐵版送入ロ
- (3) 送出口
- (4) 劃壁
- (5) 隔版
- (6) 亞鉛室
- (7) 亞鉛供給室
- (8) 亞鉛供給室
- (9) 流入孔
- (13)(12) 鐵版誘導棒
- (14) 煤劑函

テ隔版面ニ流入孔ヲ穿チ以テ送出「ロール」ヲ浸セル熔融亞鉛部ニ連通セシメタル亞鉛槽ニ係リ其目的トスル所ハ比重ノ差ニ依リ鐵ト亞鉛トノ合金ヲ分離シテ供給室底ニ沈下セシメ純粹ナル亞鉛ノミヲ上層ヨリ流入セシメテ送出「ロール」ノ部分ニ湛ヘ以テ鐵ト亞鉛トノ合金力鐵版素地面ニ附着スルヲ防キ從テ製品ノ鏡面ヲ平滑無疵ナラシメントスルニ在リ

特許請求ノ範圍 一、前文記載ノ目的ヲ以テ本書ニ詳記セル如ク劃壁ノ作用